

南房総広域水道用水供給事業の業務状況
(平成 30 年度下期)

南房総広域水道企業団

【目次】

南房総広域水道用水供給事業の業務状況（平成30年度下期）

1	事業概要	1
	（1）総括事項	1
	（2）各事業の概要	1
2	経理の状況	2
	（1）予算の執行状況	2
	（2）平成30年度南房総広域水道企業団水道用水供給事業損益計算書	4
	（3）平成30年度南房総広域水道企業団水道用水供給事業貸借対照表	5
3	送水状況	7
	（1）送水量及び有収水量	7
	（2）構成団体別給水量	7
4	平成31年度予算の概要	8
	（1）収益的収入及び支出	8
	（2）資本的収入及び支出	9
5	事業の経営方針	9

1 事業概要

(1) 総括事項

南房総広域水道企業団では、事業経営に関する新たな基本計画であり、水道事業を運営する上での指針ともなる「中長期経営プラン2017（計画期間 平成29年度～平成38年度）」を平成29年3月に策定しました。

この経営プランは、「南房総の未来をつなぐ安全・確実で信頼される広域水道」を基本理念としております。平成30年度はその2年目にあたり、前年度に引き続き、所要の取り組みを行いました。

当年度の主な事業としては、確実な給水の確保のための取り組みとして、前年度に引き続き、中央監視制御設備及び遠方監視制御設備等の更新工事を実施したほか、浄水設備及び送水設備の点検整備工事等を実施しました。

また、供給体制の持続性の確保のための取り組みとして、引き続き、技術継承と安定給水に資するため職員の採用に取り組むとともに、将来的な施設更新費用の効率的資金運用の観点から投資有価証券による資金運用を行いました。

今後も、事業の健全経営に一層の努力を重ね、住民の皆様の生活の根幹を支える水道用水を安定的に供給することを通して、住民福祉の増進に寄与してまいります。

(2) 各事業の概要

ア 用水供給事業

用水供給事業については、当年度年間送水量の 11,452,815³ に対し、有収水量は 11,428,527³ となり、有収率は 99.78% となりました。

イ 工事の概況

建設工事については、該当工事はありませんでした。

改良工事については、前年度から繰り越した1号生成次亜塩貯蔵槽更新工事、債務負担行為である中央監視制御設備及び遠方監視制御設備更新工事並びに2号生成次亜塩貯蔵槽更新工事ほかを実施し、工事費の総額は、840,133,080円でしたが、債務負担行為により竣工が次年度になるものがあるため、当年度執行分は530,795,160円でした。

保存工事については、電気計装設備点検整備工事外を実施し、工事費の総額及び当年度執行分は379,968,638円でした。

2 経理の状況

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率
	現年度分	財源充当額	計	上期	下期	計	
水道用水供給事業収益	4,022,317,000	0	4,022,317,000	2,004,052,455	2,025,908,043	4,029,960,498	100.2%
営業収益	3,050,053,000	0	3,050,053,000	1,532,254,929	1,516,728,637	3,048,983,566	100.0%
給水収益	3,050,019,000	0	3,050,019,000	1,532,254,929	1,516,694,607	3,048,949,536	100.0%
受託工事収益	34,000	0	34,000	0	34,030	34,030	100.1%
営業外収益	972,264,000	0	972,264,000	471,797,526	509,179,406	980,976,932	100.9%
受取利息及び配当金	2,217,000	0	2,217,000	776,792	1,447,186	2,223,978	100.3%
補助金	38,101,000	0	38,101,000	5,000,000	33,101,000	38,101,000	100.0%
長期前受金戻入	931,334,000	0	931,334,000	465,771,000	473,428,780	939,199,780	100.8%
雑収益	612,000	0	612,000	249,734	1,202,440	1,452,174	237.3%

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率
	現年度分	流用増減額	計	上期	下期	計	
水道用水供給事業費用	3,834,380,000	0	3,834,380,000	1,944,131,301	1,647,571,326	3,591,702,627	93.7%
営業費用	3,597,156,000	0	3,597,156,000	1,857,743,337	1,514,875,591	3,372,618,928	93.8%
原水及び浄水費	1,389,899,000	0	1,389,899,000	804,211,311	403,434,629	1,207,645,940	86.9%
送水費	158,201,000	0	158,201,000	56,220,966	68,964,582	125,185,548	79.1%
受託工事費	34,000	0	34,000	33,040	0	33,040	97.2%
総係費	104,032,000	0	104,032,000	44,833,520	50,328,045	95,161,565	91.5%
減価償却費	1,930,081,000	0	1,930,081,000	952,444,500	977,239,940	1,929,684,440	100.0%
資産減耗費	14,909,000	0	14,909,000	0	14,908,395	14,908,395	100.0%
営業外費用	227,224,000	0	227,224,000	86,387,964	132,695,735	219,083,699	96.4%
支払利息及び 企業債取扱諸費	161,140,000	0	161,140,000	86,387,964	74,751,255	161,139,219	100.0%
消費税	66,000,000	△ 4,000	65,996,000	0	57,856,900	57,856,900	87.7%
雑支出	84,000	4,000	88,000	0	87,580	87,580	99.5%
予備費	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0	0.0%

注: 収益的支出の表については、予算額・現年度分中に繰越額を含む。

イ 資本的収入及び支出

(単位:円)

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率
	現年度分	繰越分	計	上期	下期	計	
資本的収入	533,869,000	0	533,869,000	0	533,869,000	533,869,000	100.0%
企業債	188,300,000	0	188,300,000	0	188,300,000	188,300,000	100.0%
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	188,300,000		188,300,000	0	188,300,000	188,300,000	100.0%
県補助金	345,569,000	0	345,569,000	0	345,569,000	345,569,000	100.0%

(単位:円)

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率
	現年度分	繰越分	計	上期	下期	計	
資本的支出	3,070,678,000	31,233,600	3,101,911,600	2,214,976,037	886,179,415	3,101,155,452	100.0%
建設改良費	1,901,539,000	31,233,600	1,932,772,600	1,559,428,010	372,588,846	1,932,016,856	100.0%
水源分担金	376,758,000	0	376,758,000	128,836,000	247,837,000	376,673,000	100.0%
改良施設費	502,911,000	27,993,600	530,904,600	521,993,160	8,802,000	530,795,160	100.0%
改良事務費	8,145,000	0	8,145,000	3,864,850	4,003,966	7,868,816	96.6%
固定資産取得費	1,013,725,000	3,240,000	1,016,965,000	904,734,000	111,945,880	1,016,679,880	100.0%
企業債償還金	394,232,000	0	394,232,000	195,594,489	198,637,312	394,231,801	100.0%
年賦償還金	774,907,000	0	774,907,000	459,953,538	314,953,257	774,906,795	100.0%

資本的収入額 533,869,000円が資本的支出額 3,101,155,452円に不足する額 2,567,286,452円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 79,811,569円、建設改良積立金 352,192,792円及び過年度分損益勘定留保資金 2,135,282,064円で補てんした。

注1: 資本的支出の表については、予算額・現年度分中に流用充用額を含む。

注2: 本表の数値は、平成31年3月31日現在のものである。

(2) 平成30年度南房総広域水道企業団水道用水供給事業損益計算書（消費税抜き）

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

（注）各項目の上段（ ）内は平成30年度下期の数値を示す

（単位：円）

1 営業収益			
	(1,404,346,908)		
(1)給水収益	2,823,101,522		
	(31,510)	(1,404,378,418)	
(2)受託工事収益	<u>31,510</u>	<u>2,823,133,032</u>	
2 営業費用			
	(615,535,623)		
(1)原水及び浄水費	1,127,423,119		
	(94,445,743)		
(2)送水費	118,112,351		
	(30,593)		
(3)受託工事費	30,593		
	(53,026,305)		
(4)総係費	94,031,406		
	(977,239,940)		
(5)減価償却費	1,929,684,440		
	(14,908,395)	(1,755,186,599)	
(6)資産減耗費	<u>14,908,395</u>	<u>3,284,190,304</u>	
営業損失			(350,808,181)
			461,057,272
3 営業外収益			
	(1,447,186)		
(1)受取利息及び配当金	2,223,978		
	(33,101,000)		
(2)補助金	38,101,000		
	(473,428,780)		
(3)長期前受金戻入	939,199,780		
	(1,126,168)	(509,103,134)	
(4)雑収益	<u>1,366,656</u>	<u>980,891,414</u>	
4 営業外費用			
(1)支払利息及び 企業債取扱諸費	(74,751,255)		
	161,139,219		
(2)雑支出	(161,068)	(74,912,323)	(434,190,811)
	<u>161,068</u>	<u>161,300,287</u>	<u>819,591,127</u>
経常利益			(83,382,630)
			358,533,855
当年度純利益			(83,382,630)
			358,533,855
前年度繰越剰余金			425,392,208
その他未処分利益剰余金変動額			<u>352,192,792</u>
当年度未処分利益剰余金			<u>1,136,118,855</u>

(3) 平成30年度南房総広域水道企業団水道用水供給事業貸借対照表(消費税抜き)

(平成31年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		1,024,673,731	
ロ 建物	1,931,336,457		
減価償却累計額	<u>△ 1,152,070,284</u>	779,266,173	
ハ 構築物	48,756,583,030		
減価償却累計額	<u>△ 24,392,133,009</u>	24,364,450,021	
ニ 機械及び装置	7,870,497,814		
減価償却累計額	<u>△ 6,806,467,905</u>	1,064,029,909	
ホ 車両運搬具	12,059,559		
減価償却累計額	<u>△ 8,213,696</u>	3,845,863	
ヘ 工具器具及び備品	100,330,119		
減価償却累計額	<u>△ 61,541,393</u>	38,788,726	
ト 建設仮勘定		1,764,823,374	
有形固定資産合計			<u>29,039,877,797</u>

(2) 無形固定資産

イ 地上権		5,813,084	
ロ 施設利用権		19,780	
ハ ダム使用権		20,408,311,882	
ニ その他無形固定資産		1,383,334	
無形固定資産合計			<u>20,415,528,080</u>

(3) 投資その他の資産

イ 投資有価証券		<u>1,500,000,000</u>	
投資その他の資産合計			<u>1,500,000,000</u>
固定資産合計			<u>50,955,405,877</u>

2 流動資産

(1) 現金・預金		4,550,172,233	
(2) 未収金		260,925,299	
(3) 貯蔵品		49,042,760	
(4) 前払費用		2,193	
(5) その他流動資産		5,000,000	
流動資産合計			<u>4,865,142,485</u>

資産合計			<u><u>55,820,548,362</u></u>
------	--	--	------------------------------

負 債 の 部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>2,988,496,256</u>		
企業債合計		2,988,496,256	
(2) 年賦未払金		<u>777,072,771</u>	
固定負債合計			3,765,569,027
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>408,015,377</u>		
企業債合計		408,015,377	
(2) 未払金		369,155,715	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金	17,105,000		
ロ 法定福利費引当金	<u>3,270,000</u>		
引当金合計		20,375,000	
(4) 年賦未払金		700,925,850	
(5) その他流動負債		<u>6,049,319</u>	
流動負債合計			1,504,521,261
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		49,154,798,152	
(2) 長期前受金収益化累計額		<u>△ 25,262,795,743</u>	
繰延収益合計			<u>23,892,002,409</u>
負債合計			<u>29,162,092,697</u>

資 本 の 部

6 資本金			
(1) 自己資本金			
イ 他会計出資金	25,379,911,000		
ロ 組入資本金	<u>142,425,810</u>		
自己資本金合計		<u>25,522,336,810</u>	
資本金合計			25,522,336,810
7 剰余金			
(1) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>1,136,118,855</u>		
利益剰余金合計		<u>1,136,118,855</u>	
剰余金合計			<u>1,136,118,855</u>
資本合計			<u>26,658,455,665</u>
負債・資本合計			<u>55,820,548,362</u>

3 送水状況

(1) 送水量及び有収水量

(単位：m³)

区 分	上 期	下 期	計	備 考
取水量	5,915,312	5,667,835	11,583,147	
送水量 (A)	5,867,115	5,585,700	11,452,815	
有収水量 (B)	5,854,885	5,573,642	11,428,527	
1日最大給水量 (C)	37,863	35,047		
1日平均給水量 (D)	31,994	30,624		
有収率 (B/A)	99.79%	99.78%	99.78%	
負荷率 (D/C)	84.50%	87.38%		

(2) 構成団体別給水量

(単位：m³)

団 体 名	給 水 量		計	備 考
	上 期	下 期		
いすみ市	988,046	1,046,737	2,034,783	
御宿町	206,749	139,809	346,558	
大多喜町	372,354	375,293	747,647	
勝浦市	420,680	401,270	821,950	
鴨川市	573,357	527,519	1,100,876	
鋸南町	202,299	200,955	403,254	
南房総市	772,207	712,073	1,484,280	
三芳水道企業団	2,319,193	2,169,986	4,489,179	
計	5,854,885	5,573,642	11,428,527	

4 平成31年度予算の概要

平成31年度予算は、中長期経営プラン2017（計画期間：平成29年度～38年度）を基本に、財政見直しを見定め、組織体制・業務の見直しなどに取り組み、経費の縮減に努めながら、同計画に掲げた目標の達成に向けた予算としました。

○中長期経営プラン2017 目標及び主要施策

目標	主要施策
安全	① 水源水質・水質事故への対応力の向上 ② 適切な浄水処理の実施 ③ 水質管理体制の充実
強靱	① 施設・管路の維持管理 ② 適切な更新の実施 ③ 災害対策事業の実施 ④ 危機管理体制の強化
持続	① 経営の健全化及び効率化 ② 広域化の推進 ③ 人材育成と活力ある組織づくり ④ 構成市町等との連携・情報公開 ⑤ 環境対策

なお、平成31年度は、夷隅・安房郡市の事業体へ年間総給水量 11,740,728³（前年度比 1.02%増）の給水を行う予定で、主な建設改良事業として、中央監視制御設備及び遠方監視制御設備更新工事等を実施する予定です。

(1) 収益的収入及び支出

(収入)

(単位:千円)

区分	H31当初予算額	H30当初予算額	比較増減額
第1款 水道用水供給事業収益	4,044,661	4,017,454	27,207
第1項 営業収益	3,094,140	3,052,491	41,649
第2項 営業外収益	950,521	964,963	△ 14,442

(支出)

(単位:千円)

区分	H31当初予算額	H30当初予算額	比較増減額
第1款 水道用水供給事業費用	3,987,244	3,954,765	32,479
第1項 営業費用	3,783,675	3,694,906	88,769
第2項 営業外費用	193,569	249,859	△ 56,290
第3項 予備費	10,000	10,000	0

(2) 資本的収入及び支出

(収入)

(単位:千円)

区分	H31当初予算額	H30当初予算額	比較増減額
第1款 資本的収入	451,936	558,469	△ 106,533
第1項 企業債	125,400	212,900	△ 87,500
第2項 県補助金	326,536	345,569	△ 19,033

(支出)

(単位:千円)

区分	H31当初予算額	H30当初予算額	比較増減額
第1款 資本的支出	1,967,321	3,085,601	△ 1,118,280
第1項 建設改良費	823,331	1,916,461	△ 1,093,130
第2項 企業債償還金	408,016	394,233	13,783
第3項 年賦償還金	735,974	774,907	△ 38,933

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,515,385千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額108,960千円、過年度分損益勘定留保資金1,406,425千円で補てんするものとする。

5 事業の経営方針

当企業団は、営業開始以降、夷隅・安房地域における水道用水供給事業者としての責務を果たしてまいりました。現在は、平成29年3月に策定した「中長期経営プラン2017」(計画期間:平成29～38年度)に基づき、安心・安全な水の安定的かつ廉価な供給を目指し、経営の健全化に努めているところです。

平成27年度決算をもって、累積欠損金は解消されましたが、未だ企業債等の未償還残高は約49.5億円※あり、給水開始から20年以上経過し、施設・設備の老朽化や給水人口の減少など、経営の合理化や効率的な施設整備が求められる状況に変わりはありません。

平成31年度は、「中長期経営プラン2017」に基づき、「南房総の未来をつなぐ安全・確実で信頼される広域水道」という基本理念のもと、引き続き経費の削減や内部留保資金の有効な運用による収益の確保に取り組み、「経営の安定」を図ってまいります。

※ 平成30年度末における企業債未償還残高及び(独)水資源機構割賦負担金未償還残高(税込み)の合計額。